

# 令和2年度 決算

令和2年度決算が9月議会定例会で承認されました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、新たな生活様式が求められた令和2年度。一般会計決算は「歳入」・「歳出」とともに、前年度と比較して大幅に増額しました。

【お問い合わせ】  
役場総合政策課 財政係 ☎52-2111

決算規模の拡大には、新型コロナウイルス感染症対策事業が大きく影響しています。一人10万円を給付した国の定額給付金事業により、歳入・歳出ともに大幅に増加。また、経営持続化給付金など、町独自の事業者支援等を講じたことにより、補助費全体で6億2,068万円増加しました。さらに、空調設備導入や自動水栓の設置など、公共施設の感染予防対策も実施。町独自事業には、財源として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億7,565万円を充当しました。一方で、コロナウイルス拡大防止のため中止とした事業も多く、不用となった予算もありました。

<主なハード事業>

- ・ 公共施設感染予防対策事業 8,522万円
- ・ 道路橋梁修繕改良工事 7,353万円

<主なソフト事業>

- ・ 定額給付金の給付 5億3,415万円
- ・ 町立金山診療所への運営費等繰出金 2億975万円
- ・ 町道除雪事業 4,815万円
- ・ 育児支援事業 1,290万円

### 3 特別会計の状況 — 診療所など特定の事業収支はどうか —

特別会計とは、特定の事業を実施する会計で、その収支を明確にするために設置するものです。国民健康保険会計の事業勘案は令和2年度を持って廃止しました。また、町立金山診療所の経営は非常に厳しく、一般会計で約2億円の運営費補助を行っています。

※収益的：水道水を作り、各家庭へ送り届けるための費用や減価償却費。主な収入は水道料金や一般会計補助金。  
※資本的：水道管などの施設整備費用や借入金返済。

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険会計（事業）：医療費	7万円	7万円
国民健康保険会計（直診）：診療所	3億4,238万円	3億2,157万円
介護保険会計	8億6,873万円	8億2,762万円
後期高齢者医療会計	7,042万円	6,781万円
農業集落排水事業会計	8,909万円	7,730万円
公共下水道事業会計	1億6,163万円	1億5,084万円
水道事業会計	収益的	1億7,882万円
	資本的	0万円
		8,384万円

### 4 基金残高の推移 — 町にどれだけの貯金があるか —

基金とは、町の「貯金」のこと。弾力性のある財政運営には、余裕をもった基金積立が不可欠です。また、後年度の貴重な財源でもあり、災害対応の財源としても活用します。基金残高の増加につながる事業の見直しを行っています。

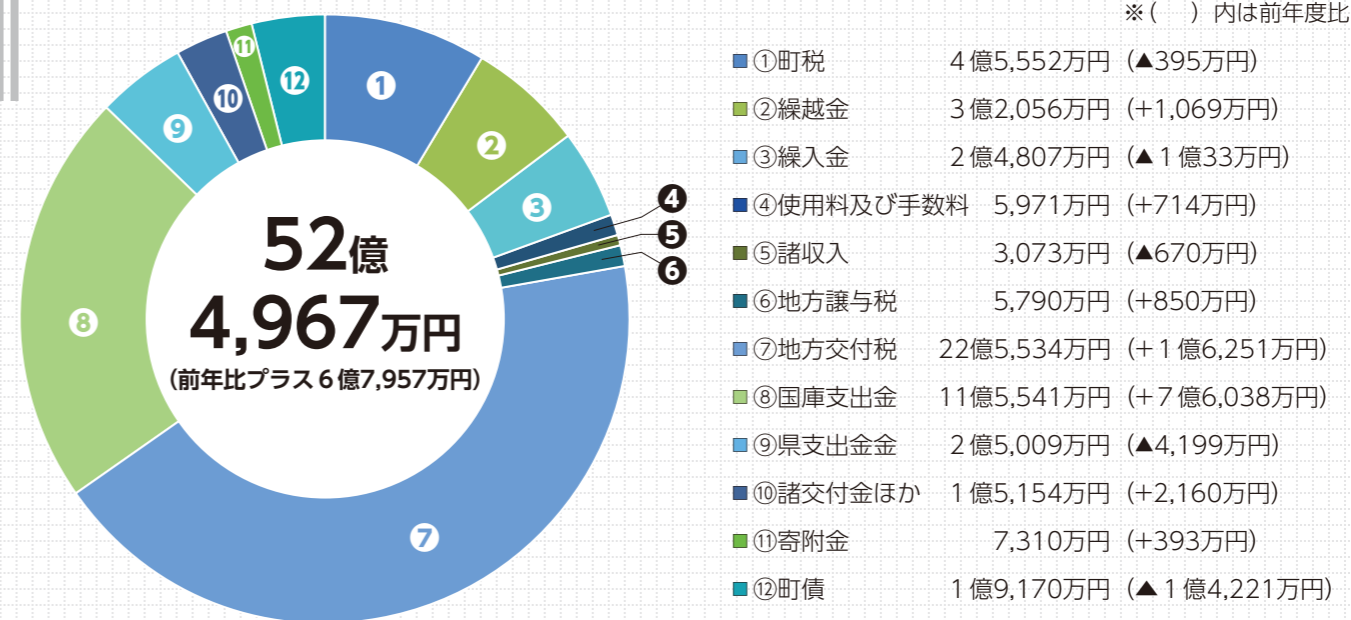
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政運営基金（財源不足補填）	7億 105万円	7億 574万円	7億6,552万円
減債基金（借金返済）および特定目的基金等	3億3,440万円	4億3,131万円	5億9,453万円
合計	10億3,545万円	11億3,705万円	13億6,005万円

### 5 地方債残高の推移 — 町にどれだけの借金があるか —

地方債残高は、言わば「借金」の金額。多世代で利用する社会資本を公平に負担する役割も担っています。全会計の残高はおよそ59億円。返済時に国の補助がある過疎対策事業債などを一部活用していますが、健全な財政運営に向けて、計画的な事業実施と返済が必要です。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計	44億6,885万円	44億1,988万円	41億7,271万円
国民健康保険会計（直診）	1億1,912万円	1億1,591万円	1億1,404万円
農業集落排水事業会計	1億1,981万円	1億1,496万円	9,728万円
公共下水道事業会計	12億1,663万円	11億4,494万円	10億7,358万円
水道事業会計	5億7,510万円	5億 906万円	4億4,118万円
合計	64億9,951万円	63億 475万円	58億9,879万円

### 1 一般会計 歳入 — 1年間にどのような収入があったか —



### 2 一般会計 歳出 — 1年間にどのような支出があったか —

